

ハラールという戦略上の選択肢 حلال

データで読み解く訪日ムスリム客の動向

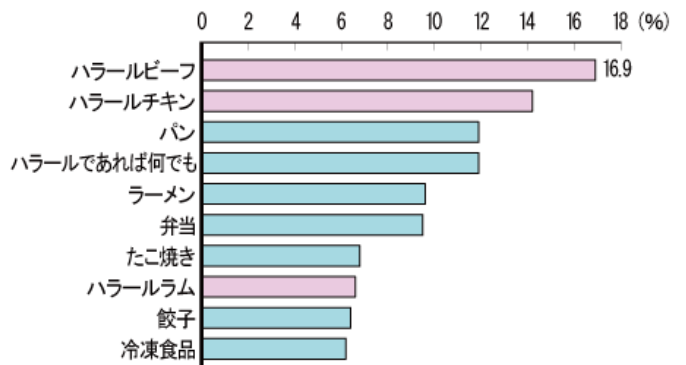
第7回

これまでの6回の連載では、訪日ムスリム客とは誰か、どんな情報をどうやって探し、どこに向かって何をやりたがっているのかをご紹介します。今回は食の観点から、訪日ムスリム客だけではなく、在日ムスリムも含めたデータを検証します。

留学生「とにかく肉が食べたい」

日本ならではのB級グルメを買いたいが、特にニーズが強い食肉類は日本産品にこだわっていない。

日本のスーパーで買いたいものは何ですか？



データ: Muslim Friendly Information in Japan 調べ

まずご紹介するデータは「日本のスーパーで何を買いたいですか」という質問に対する回答です。これはハラールメディアジャパンが運営しているフェイスブック・グループ「ムスリムフレンドリーインフォメーション・イン・ジャパン」の調査によるもので、同グループには在日ムスリム、海外ムスリム、ハラール市場関係者の約4万人が参加しています。

ランキング1位はイスラム教の戒律に従ったハラールビーフ、2位はハラールチキンで、パンが3位につけています。ラーメン、たこ焼き、餃子といったB級グルメの人気の高いことが、ここでも確認できますが、一方で「ハラールであれば何でもいい」といった切実な声も聞かれます。

ラムは7位ですが、全体に食肉類が望まれているのがよく分かります。これは私も肌で感じるところです。日本でムスリムの留学生に会うと「とにかく肉が食べたい。ハラールのインスタントラーメンやお菓子は一

時帰国した友人や来日した家族からお土産としてもらうことが多いが、肉を食べることができる機会はまだまだ少ない」という声をよく聞くからです。留学生の多くは若年層のため、がつつり食べたいという欲望が強いのでしょう。

進展が遅いハラールミート事情

では日本のハラールミートの供給状況はどうなっているのでしょうか。和牛は今や世界的なブランドで、さぞ大量に輸出しているのかと思いきや、残念ながらハラールミートに至ってはほとんど実績がありません。牛肉について言えば、理由は3つあります。そもそも国内の牛肉生産量が増えていないこと。それから、比較的安価な輸入牛肉が増えていること。そしてハラール認証問題です。

日本の牛肉の自給率は40%（※）で、年々微減傾向にあります。いくらハラールが注目されているといっても、認証を取得してまで対応しようという企業は少ないというのが現状です。加えて食肉におけるハラール認証の要件は特に厳しいため、関心はあっても対応できる企業が少ないのです。

そこでにわかに注目されているのがハラールミートの輸入です。日本が牛肉を輸入する相手国の1位はオーストラリアで、輸入量全体の54%を占めます。2位は米国で、同じく36%。両国だけで、日本の輸入牛肉のシェアは実に90%にも及んでいます。とりわけ畜産大国オーストラリアのハラールミートの輸出は好調で、インドネシアやマレーシアはもとより、近年は中東にも「クリーンかつグリーン」（衛生的で、環境負荷の小さい）なハラールビーフとしてシェアを拡大させています。日本へ輸出しているビーフが実はハラールだったという事例もありますので、国産にこだわらなければ在日ムスリムの悩みも軽減されるかもしれません。

訪日してもホット&スパイシーが大好き

本連載の第2回でご紹介したように、ムスリムに対応した焼肉店やしゃぶしゃぶ店は、訪日ムスリム客の間で「食べたかった日本食」として人気を博しています。東南アジアでは、目の前でシェフに焼いてもらう

鉄板焼きスタイルは定着していますが、七輪やコンロを使って自分で焼くスタイルはまだ珍しいため、訪日して「やってみたかった」という“コト消費”の一つになっています。

提供する食肉は国産と海外産を併用している店舗が多いようですが、ムスリム客の中には焼肉のタレで味を楽しんだ後に、チリソースやワサビをオーダーする人がいます。ホットでスパイシーな味が恋しくなるようで、自国から日本に持参してくる人までいるほど、彼らにとっては必須の味のようなのです。日本の味、自分の店の味を楽しんでもらうことは基本的姿勢として崩すべきではありませんが、海外客のこうした嗜好(しこう)に柔軟に対応することも必要といえるでしょう。

今回は旅の最後の悩み、お土産について取り上げます。ハラール商品のお土産はあるのか? 何を買って帰りたいと考えているのか? アンケート結果と実際の声をご紹介します。

※「食料需給表平成 27 年度」農水省大臣官房政策課食料安全保障室より

< 筆者紹介 >

横山真也

Yokoyama & Company (S) Pte Ltd マネジングディレクター

ハラールメディアジャパン株式会社 共同創業者
ハラール関連事業としては 2014 年元日に「世界初の英語発信による日本ハラール専門ポータルサイト」HALAL MEDIA JAPAN を開設、同年にはハラール・ベジタリアンレストラン検索サイト・アプリ HALAL GOURMET JAPAN をサービスイン。国内初の国際的ハラールイベントである JAPAN HALAL EXPO を 14 年と 15 年の 2 年連続で幕張メッセなどと共催。今年新たに HALAL EXPO JAPAN 2016 として単独開催、日本初のムスリムファッションショーである TOKYO MODEST FASHION SHOW を併催し、1 万人を動員する。

10 年以上の刊行実績 海外赴任に役立つ情報ガイドブック!
赴任前の準備から現地での生活、帰国後の情報まで分かりやすくまとめた一冊。

海外赴任 2016 リロケーションガイド

発行 エヌ・エヌ・エー
リロケーション・インターナショナル

すぐに役立つデータ集



第 1 章 赴任の手続き
公的機関への手続き
ビザの取得方法
暮らしに関する手続き
お金に関する手続き
赴任後の生活の準備
日本に残る親のケア
海外赴任者のマイナンバーの取扱い
語学学習の準備



第 2 章 住宅
自宅をどうするか
借家住まいの注意点
持ち家を賃貸する
家を売却する
家の税金
赴任地での住まい



第 3 章 引越
タイムスケジュール
準備
荷造り
荷物の種類
ペットの送り方・持ち込み方
荷物の発送・受け取り



第 4 章 健康管理
赴任前の準備
感染症対策
予防接種
海外医療事情
海外での出産
医薬品の持ち込み



第 5 章 子育て・教育
転校の準備
海外学校事情



第 6 章 赴任地での暮らし
現地での生活の始め方
新しい生活を楽しもう
安全対策
生活に便利な情報



第 7 章 帰国
帰国後の教育
帰国生入試の基礎知識
スーパーグローバル大学



附録 データ集
在日大使館・領事館など
海外赴任をサポートする企業・団体など
チェックリスト (赴任前・タイムチャート・海外赴任準備・引越)

「海外赴任前に準備したい保険と介護」の座談会や「スーパーグローバル大学」を新たに企画・取材。
「マイナンバー制度」や「認知症とドッグセラピー」なども掲載した最新版。

■ A 5 判 / 280 ページ
■ 発売：キョーハンブックス
■ 発行年月：2016 年 1 月 22 日